

ブラザーグループのCSR

内部統制

体制の整備と継続的なレベルアップ

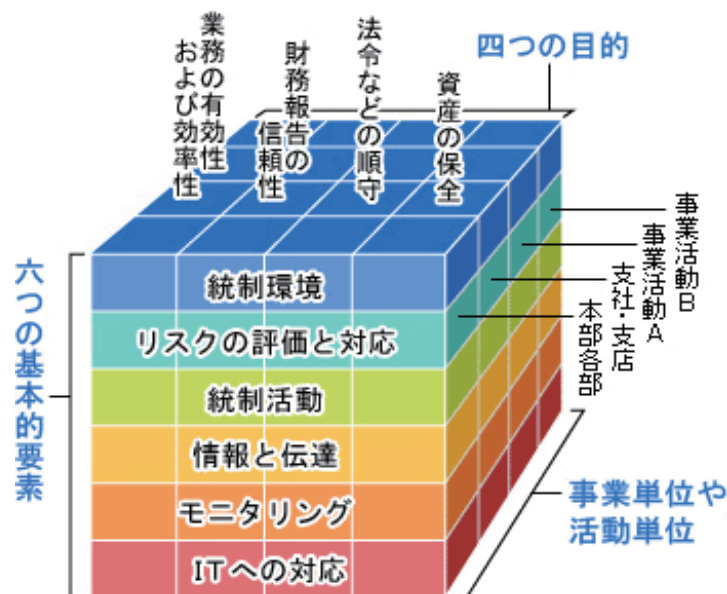
財務報告の透明性と信頼性を確保するために

2006年5月の新会社法施行や、2009年3月期からの内部統制報告書提出義務化など、社会は企業の財務報告にますますの透明性・信頼性を求めています。ブラザーグループは、これを業務の効率化、リスク対応力の強化、グループ経営の推進、ひいては企業価値の向上を図る好機ととらえ、体制の整備を進めました。

そしてブラザーグループ各社は、毎年、内部統制が有効に機能しているかどうかをチェックリストなどで自己点検し、さらに内部監査部門が、独立的な観点からの監査を実施することで、継続的な内部統制の向上を図っています。また、内部統制の目的や重要性、グループの活動状況などを共有するためのホームページをイントラネットに開設したり、各種研修を通じて理解を更に深めてもらうなどの積極的な啓発活動も行っています。

今後も、経営を支える重要なインフラのひとつである内部統制の維持・向上を図ることで、社会からの要請である「財務報告の透明性と信頼性」の確保に努め、多くのステークホルダーから継続して高い信頼をいただけるよう努めてまいります。

内部統制のフレームワーク



ブラザーグループのCSR

内部統制

地域統括会社と連携し内部監査を実施

内部統制のPDCAサイクル確立・向上を目指して

ブラザーグループでは、2014年度に、国内8社・海外12社のグループ会社で内部監査を実施しました。これは、内部統制に関わるPDCAサイクルをより確かなものとし、業務のさらなる透明化・効率化、リスク対応力の強化を図るためのものです。

ブラザーグループでの監査は、ブラザー工業と地域統括会社の内部監査部門が密に連携をして実施しており、より現地の実態に則した監査を行っております。さらに、今後ますますグローバルで重要となる内部監査機能の強化を図ることを目的として、2015年2月に「グローバル内部監査会議」を開催しました。2010年から数えて6回目の開催となり、米州・欧州・亜州の地域統括会社やブラザー工業内部監査部・財務部・IT戦略推進部から総勢20名ほどが参加しました。

今後は、(1)自己点検による現場部門の内部統制にかかわるPDCAサイクルの自律化(2)改善策の組織/会社横断的な展開によるグループ全体のレベルアップ(3)ブラザー工業・地域統括会社・グループ会社・各部門の連携・情報共有による監査の効率化などを目標に、M&Aなどの変化に対応しつつ、ブラザーグループ全体の内部統制機能の維持向上を図ります。



グローバル内部監査会議の様子